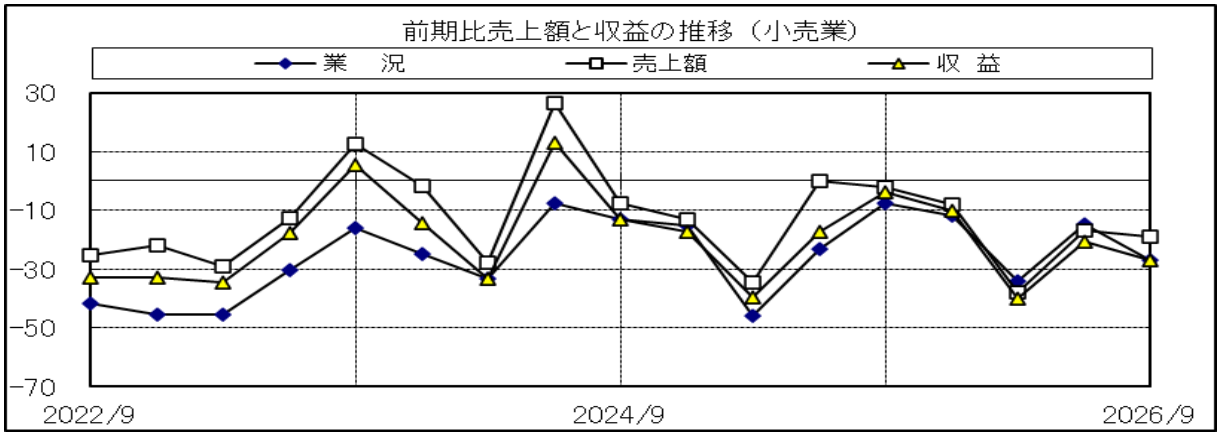
小　売　業　48企業（回答率100%）の調査結果です

□　景　　況

DI値の推移	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期見通し
業　況	-34.0	-14.6	-27.1	-33.3
売上額	-38.0	-16.7	-18.8	-20.8
収　益	-40.0	-20.8	-27.1	-20.8

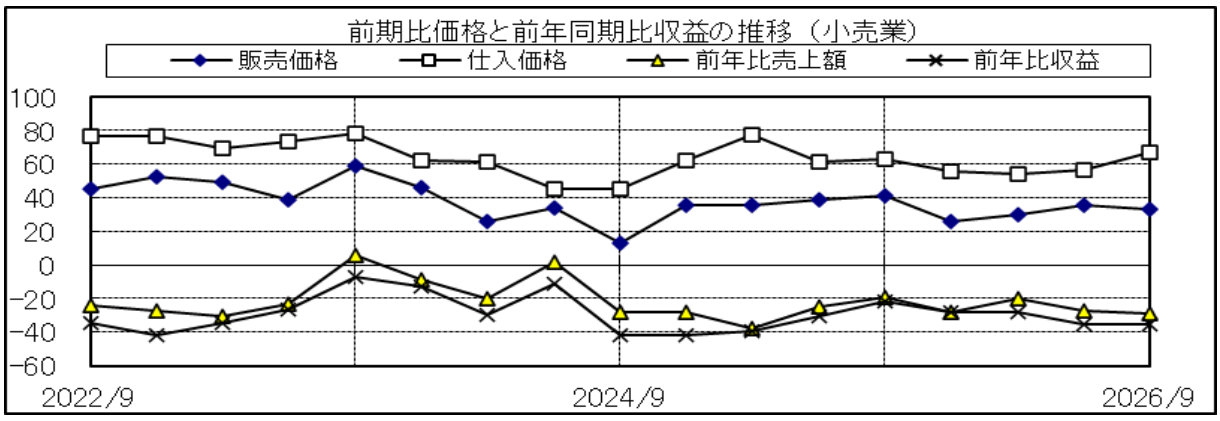
今期の業況判断 D.I.は△27.1 で、前期比12.5ポイント下降、前年(△7.8)比で19.3ポイント下降した。地区別の D.I.は高い順に、静内が最も高く、次に、様似、広尾、三石、浦河と続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断D.I.は△18.8で、前期比2.1ポイント下降。収益判断 D.I.は△27.1 で、前期比6.3ポイント下降した。



□　価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI値の推移	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期見通し
販売価格	30.0	35.4	33.3	29.2
仕入価格	54.0	56.3	66.7	58.3

販売価格判断 D.I.は 33.3 で、前期比 2.1ポイント下降、前年(41.2)比で 7.9 ポイント下降した。仕入価格判断 D.I.は 66.7 で前期比10.4ポイント上昇、前年(62.7)比で4.0ポイント上昇した。業種別では、販売価格は、衣料、家電が横ばい、食品は上昇。仕入価格は衣料、食品、家電の全業種で上昇した。



□　雇用面の動き

DI値の推移	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期見通し
残業時間	-8.0	-2.1	-6.3	-8.3
人手状況	-28.0	-25.0	-20.8	-20.8

残業時間判断 D.I.は△6.3 で、前期比 4.2ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D.I.は△20.8 で、前期比4.2ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

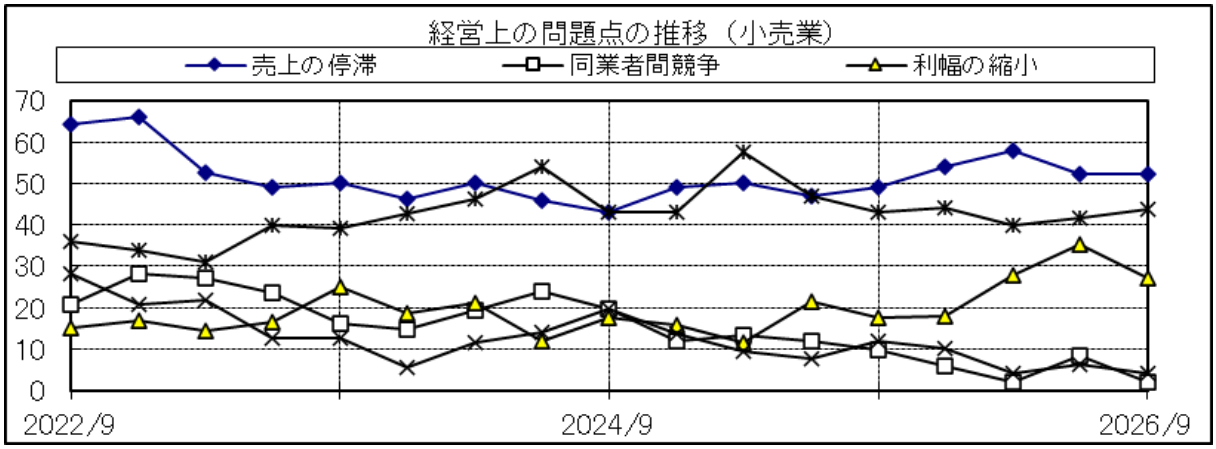
設備投資の充足感を示すD.I.は△10.4で、前期(△16.7)比6.3ポイント上昇した。

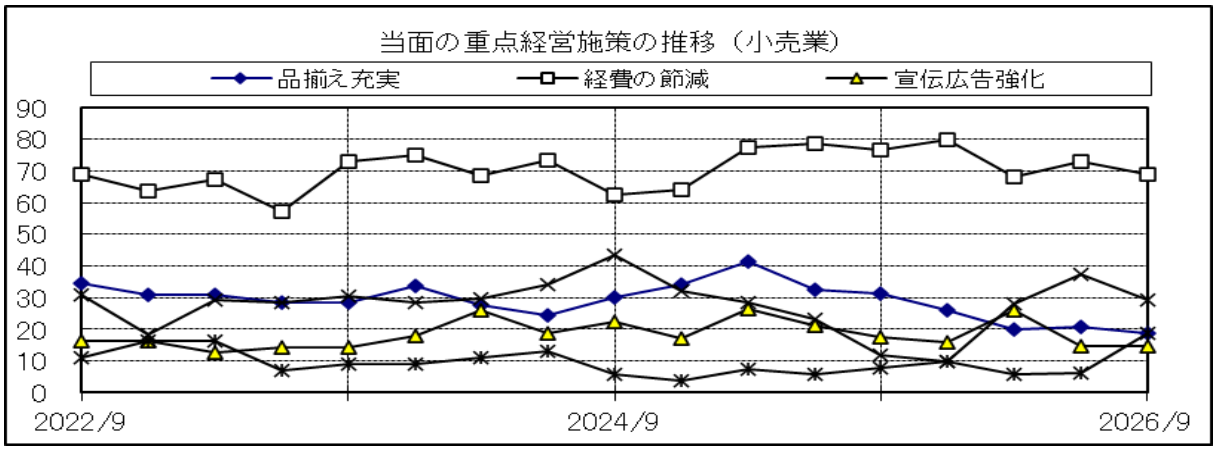
設備実施企業割合は6.3で、前期(8.3)比2.0ポイント下降した。設備投資は、前期4社に対し3社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が52.1%と最も多く、次に「商圏人口減少」43.8%、「利幅縮小」27.1%、「値上要請」・「取引先減少」が 20.8%、「商店街集客力低下」14.6%、「人手不足」・「販売商品不足」・「諸経費増加」が 10.4%、「人件費増加」・「地場産業衰退」が 8.3%、「店舗狭隘老朽化」6.3%、「大型店競合」・「取扱商品陳腐化」が 4.2%、「同業者競合」・「代金回収悪化」・「天候不順」・「大手企業撤退」が2.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が68.8%と最も多く、次に「売れ筋商品取扱い」29.2%、「品揃え改善」・「商店街活性化」が18.8%、「宣伝広告強化」14.6%、「仕入先開拓選別」12.5%、「人材確保」8.3%、「新事業開始」・「店舗設備改装」・「機械化促進」が2.1%となっている。





□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△33.3と、今期比6.2ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△20.8と、今期比2.0ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△20.8と、今期比6.3ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は29.2と、今期比4.1ポイントの下降を見通している。

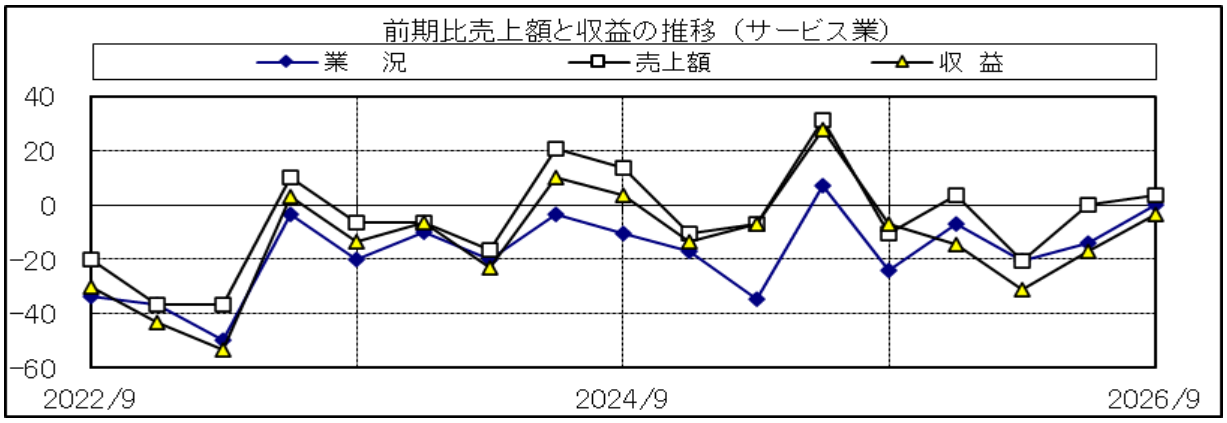
予想仕入価格判断D.I.は58.3と、今期比8.4ポイントの下降を見通している。

サービス業　29企業（回答率96.6%）の調査結果です

□　概　　況

DI値の推移	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期見通し
業　況	-20.7	-13.8	0.0	10.3
売上額	-20.7	0.0	3.4	6.9
収　益	-31.0	-17.2	-3.4	-6.9

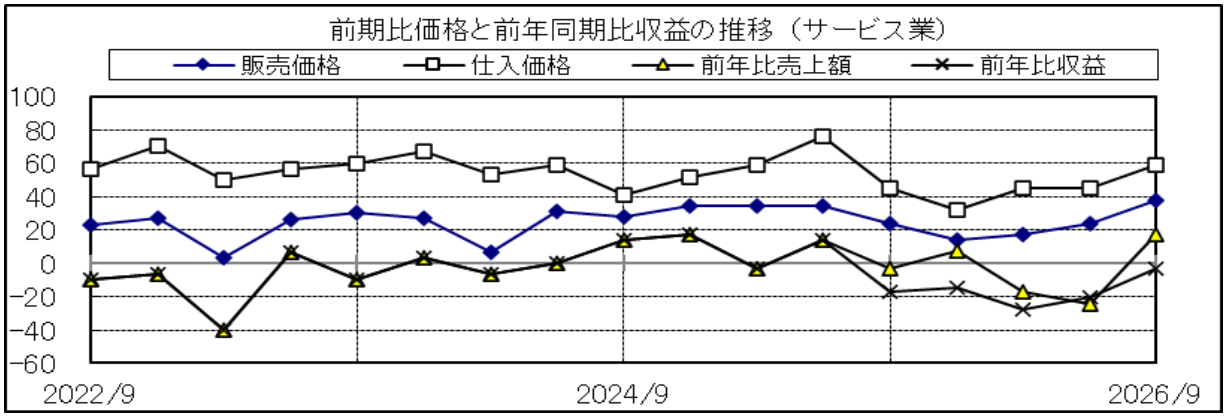
今期の業況判断D.I.は0.0で、前期比13.8ポイント上昇、前年(△24.1)比で 24.1 ポイント上昇した。地区別の D.I.は高い順に、三石が最も高く、次に、えりも、同率で浦河・静内・広尾と続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D.I.は 3.4 で、前期比 3.4 ポイント上昇。収益判断 D.I.は△3.4 で、前期比 13.8 ポイント上昇した。



□　価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI値の推移	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期見通し
料金価格	17.2	24.1	37.9	24.1
材料価格	44.8	44.8	58.6	34.5

料金価格判断 D.I.は 37.9 で、前期比 13.8 ポイント上昇、前年(24.1)比で 13.8 ポイント上昇した。材料価格判断 D.I.は 58.6 で、前期比 13.8 ポイント上昇、前年(44.8)比で 13.8 ポイント上昇した。業種別では、料金価格は旅館業、洗濯理容業は上昇、自動車整備業は横ばい。材料価格は、旅館業、洗濯理容業、自動車整備業全てで上昇した。



□　雇用面の動き

DI値の推移	1～3月期実績	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期見通し
残業時間	-24.1	-13.8	-3.4	-10.3
人手状況	-31.0	-37.9	-27.6	-31.0

残業時間判断 D.I.は△3.4 で、前期比 10.4 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D.I.は△27.6 で、前期比 10.3 ポイント上昇し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

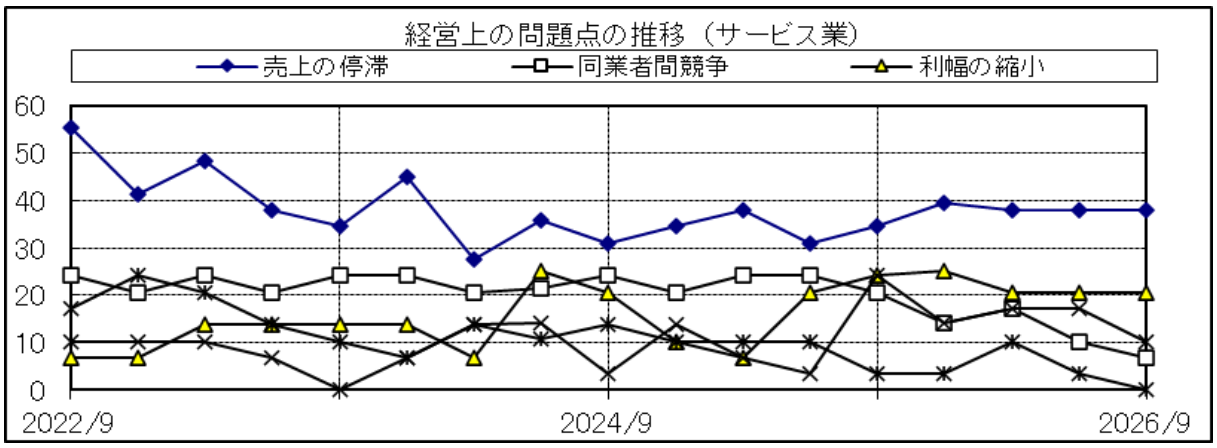
設備投資の充足感を示すD.I.は△6.9で、前期（△10.3）比3.4ポイント上昇した。

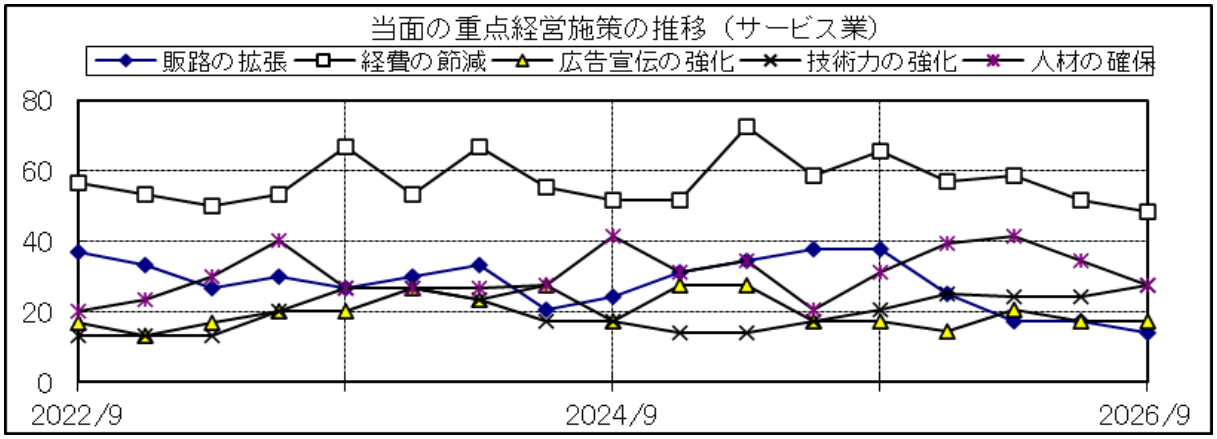
設備投資実施企業割合は13.8で、前期（10.3）比3.5ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は、2社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圏人口減少」が44.8%と最も多く、次に「売上停滞減少」が37.9%、「人手不足」31.0%、「材料価格上昇」・「取引先減少」が27.6%、「利幅縮小」20.7%、「人件費増加」10.3%、「同業者競合」・「合理化不足」・「店舗設備の老朽化」・「代金回収悪化」が6.9%、「料金値下げ要請」・「諸経費増加」・「技術力不足」・「地価高騰」・「駐車場確保難」・「天候不順」が3.4%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 48.3%と最も多く、次に「技術力強化」・「人材確保」が27.6%、「宣伝広告強化」17.2%、「販路拡大」・「提携先確保」が 13.8%、「店舗設備改善」・「教育訓練強化」が6.9%、「新事業開始」3.4%となっている。





□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は10.3と、今期比10.3ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は6.9と、今期比3.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は△6.9と、今期比3.5ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D.I.は24.1と、今期比13.8ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断D.I.は34.5と、今期比24.1ポイントの下降を見通している。